



# 春日井ロータリークラブ

## クラブテーマ 2015～2016 年度 WEEKLY REPORT

「奉仕・親睦」を一人一人のレベルで日々実行しよう  
「奉仕・親睦」を皆で共有し、祝福しよう  
たくさんの達成感と充実感を得よう

会長：志水ひろみ  
副会長：名畑 豊  
幹事：長谷川英輝  
会報委員長：成瀬 浩康

例会日：金曜日 12:30～13:30  
例会場：ホテルプラザ勝川  
事務局：春日井市鳥居松町 5-45  
TEL：(0568) 81-8498  
FAX：(0568) 82-0265  
E-mail：Ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



ニュートン科学館



ニュートンのリンゴの木

### 本日のプログラム

司会 青山 博徳君  
志水ひろみ君

- ・点 鐘
- ・ROTARY SONG 「われら日本のロータリアン」
- ・今月の歌 「スキー」
- ・ビジター紹介 志水ひろみ君
- ・食事・歓談
- ・委員会報告
- ・会長挨拶 志水ひろみ君
- ・卓 話 一ノ瀬芳翠氏
- ・幹事報告 長谷川英輝君
- ・点 鐘 志水ひろみ君

### 今月の歌

#### スキー

山はしろがね 朝日を浴びて  
滑るスキーの 風きる早さ  
とぶは小雪か 舞い立つ霧か  
おおこの身も 駆けるよ駆ける

### 先週の記録

会長挨拶 会長 志水ひろみ君  
聞いてください私の自慢話を！  
この3年間どっぷり大殺界に浸かって やること  
なすこと裏目にでてしょげかえりながら自身のバ  
ッテリーの充電につとめてきました。  
今年からはうってかわって新規事業、海外旅行、  
新しい出会いすべてOKということで信じられな  
いようなすばらしい世界がひらかれて、とても嬉  
しく思っています。昨年の10月頃から、そのきざ  
しがありまして、ゴルフではチップインバーディ  
ーがで、12月の福引では1等賞が当たり、

### 2016年2月26日(金)第2268回(2月第4例会)

年末ジャンボも当たり(下から2番目ですけど・・)、  
今週は大垣共立銀行の  
CD機ではモニターがスロートル画面になり  
「タッチしてくださいと」  
案内が出ましたので、何気なくタッチしましたら  
大音響のファンファーレとともに「おめでとうご  
ざいます～ 当たりました～・・・」  
今、何が起きたのか頭の中が真っ白になりドキド  
キしながら受話器を取り、  
行員さんに来てもらいました。「おめでとうござ  
います！ お客様1,000円があたりました。」  
「お支払をいたしますので、カウンターの方へお  
越しください」といわれ何が何だかさっぱりわか  
らないまま書類にサインをして現金をいただいて  
きました。こんなことが最近ちょこちょこありま  
して、いま起きていることが本当に信じられない  
事です。今一生分のラッキーアイテムを使い切  
ってしまうのは怖いので小さな幸せをたくさんか  
みしめれば幸せと思っています。

### 幹事報告

### 幹事

長谷川英輝君

### クラブ行事

：3月13日(日) 8:30～  
落合公園ポイ捨て・ふん害清掃活動  
出欠回覧を回しますので御参加よろしくお願ひし  
ます。

### 次週予告

2月26日(金) 卓話 一ノ瀬 芳翠氏

### 平和と紛争予防/紛争解決月間

例	3月6日(日)	3月11日(金)	3月18日(金)	3月25日(金)
会	3月4日変更	理事役員会11:30	卓話	セブRC帰国報告
予	東港RC歓迎例会	クラブ協議会13:30	小野寺 誠君	
定	黒潮 18時～	春日井警察署員表彰等		

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：[ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp](mailto:ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp)

## ◎例会変更のお知らせ

愛知長久手 R C	3月8日(火) 3月8日(火) 12:30 例会会場都合の為 華野
羽島 R C	3月8日(火) 3月8日(火) 例会会場都合の為 羽島学園
名古屋名東 R C	3月8日(火) 3月8日(火) 18:00 夜間例会の為 シェ・コーベ
尾張旭 R C	3月4日(金) 3月5日(土) 例会会場都合の為 芳蘭亭
岩倉 R C	3月8日(火) 3月8日(火) 12:30 座談例会の為 橋本

## ◎例会休会のお知らせ

○江南R C 3月10日(木)は休会

## 出席報告

委員長 古屋 義夫君

会員 60名	欠席 28名	出席率 53.3%
先々週の修正出席	欠席 3名	出席率 94.8%

## ニコボックス報告

委員長 岡嶋 良樹君

○中部大学、山下興亜学長をお迎えして。新会員さん、下田育雄君、岡本博貴君、大歓迎です。

志水ひろみ君

○中部大学、山下学長の卓話を楽しみにしています。

貴田 永克君

○下田君と岡本君を宜しくお願い致します。

大橋 省吾君

○下田育雄君、岡本博貴君、ご入会おめでとうございます。

屋嘉比良夫君

○岡本君、下田君、末永く宜しくお願いします。

大原 泰昭君

○今日は大変な司会をさせていただきます。よろしく。

近藤 太門君

○R C写真展、本日会場当番です。皆様お出掛け下さい。

青山 博徳君

○新入会員の皆様オメデトウございます。卓話楽しみにしております。

古屋 義夫君

○学長の卓話を楽しみに。

宅間 秀順君

○中部経済新聞に塩パンが紹介されました。

社本 太郎君

○本日入会させていただきます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

岡本 博貴君

○入会させていただきます。宜しくお願いします。

下田 育雄君

○岡本さん、下田さん入会おめでとうございます。

河村 哲也君

○山下学長の卓話を拝聴する喜びで。

中嶋 泉君

○入会おめでとう。卓話に。

芝田 貴之君

○ちょっと良いことがありました。川瀬 治通君

伊藤 正之君

○入会おめでとうございます。卓話を聞く喜びで。  
足立 治夫君 伊藤 一裕君 梅村 守君  
小川 長君 加藤 茂君 近藤 秀樹君  
朽本 正樹君 長谷川英輝君 林 憲正君  
場々大刀雄君 山田 治君  
○御協力、ありがとうございます。岡嶋 良樹君

## 卓話 中部大学 学長 山下 興亜氏

「昆虫に学ぶ生きる知恵」

今日は伝統のある春日井ロータリークラブの例会にお呼びいただき有難うございます。皆様のご活躍に対して常々敬意を表しているところです。

私は、農学のうち昆虫・蚕糸学を専攻し、幸いにも、一生この分野の教育研究に従事できました。蚕糸業と言いますか、カイコによる絹生産は、戦前の一時期は大変な産業でして、国の総輸出額の60%を超え、わが国の経済基盤を支えました。この春日井は蚕糸業の一大拠点でした。それは、河田蚕種製造会社、後のカネボウシルク株式会社によるカイコの育種や卵の生産は、一時、世界を席巻しました。

ところで、今日は、「昆虫に学ぶ生きる知恵」として、1、生物世界の現状、2、昆虫休眠ホルモン研究、3、昆虫休眠から学ぶ生きる知恵、について紹介します。

まず、今日の地球上に生息する生物世界を概観しましょう。これまでに科学的に同定された種の数250万種の約60%を昆虫が占めております。また、昆虫は4億年間生き続けているまれな生物です。昆虫が今日の地球上で最も繁栄しているのです。その生きる知恵を学ぼう、これが理由です。私は昆虫の示す特異的な生き方のうち、休眠、休み、寝ることに興味を持ちました。休み寝ることは生きる価値を持たない余分なこと。これが多くの生物学者の価値観です。私は活動も寝るも同じ生物の行いですので、誰も興味を示さない寝ることを研究しよう。若さそのものの発想です。

カイコは5月から6月のまでの2ヶ月間で、成長し、繭を吐き、蛾になり、交尾して卵を生み、一生を終わります。生まれた卵は発育を止め休眠に入り、翌年の5月まで眠り続けるのです。このカイコは、年12ヶ月のうち2ヶ月間に成長、発育、生殖し、7月から翌年の5月までの10ヶ月間は眠り続けるのです。

7月の始めに眠りに就きますが、この時期はカイコの成長にとって何一つ不都合は無いのです。食べ物十分あり、また、環境温度も最適状態にあります。なのに寝るのです。

何かあるぞ。どうして寝るのか。大学院でこの研究を始めました。勿論、指導教授の下です。1つの発見は、休眠を積極的に引き起こすホルモンが存在することでした。このホルモンを休眠ホル

モン, **Diapause hormone** と命名し、世界に報告しました。そして、この休眠ホルモンの化学構造を決めることを始めました。1962年の大学院修士課程からの仕事です。

この化学構造の決定は1991年です。私がこの研究を主催してから30年かかりました。時には、1年間にカイコを800万頭集めてホルモン抽出にあたりました。頭脳労働ではなく肉体労働の連続でした。この構造をもとに、mRNAの構造、さらにはその遺伝子の構造も解明しました。当時としては、先駆的な研究になり世界的に注目され、国際賞を受賞しました。

この休眠ホルモン研究のその後ですが、2010年頃からアメリカの大学や農務省がこの休眠ホルモンの構造をもとに、いろいろな類縁化合物を合成し、害虫を強制的に眠らせることに成功しました。害虫を積極的に眠らせることで害を防ぐ戦略です。この研究は農薬による環境汚染を根本的に解決する理論と技術の開拓です。私たちが50年前に始めた科学研究の今日の到達点です。

どんな研究、人文社会科学的な研究も自然科学的な研究も、2つの目的を持ち、2つの成果を期待して進められています。1つは、新技術開発への貢献です。生活の利便性の追求です。もう1つは、個人的な生活信条や社会、集団の維持発展のための規範や価値観を提案することです。この人々の心持を豊かにする研究も社会は求めているのです。

では、昆虫に学ぶ生きる知恵はどんなものでしょうか。1つは、個としての生きる知恵についてです。(1)つは、休眠が発育中には見られない特異な代謝系を発現していることから、環境耐性といえますか環境に左右されない環境から独立した生活型を獲得すること。いつでも環境に適応するのではなく、環境から独立し環境の影響を断ち切る戦略です。

(2)つは、休眠は積極的に発育を停止し、生活史の中に「静的な相」を導入しているのです。一生が「動的な相」だけではなく適当に静的な相導入すること、動と静を統一した生活型を組み立てて生きる戦略です。

2つは、集団あるいは社会として生きる知恵をどのように獲得しているかです。(1)つは、休眠が、食料資源が豊かで環境が最適状況で計画的に摂食活動を停止することで、その食料資源を他種に結果的に与える利他作用になり、他種の生存を保障する生物多様性の維持拡大です。摂食を時間的にすみ分けることで生物多様性を維持発展させる戦略です。

(2)つは、休眠が発育最適期にもかかわらず計画的に発育や生殖を停止することは、成長の進んだ固体が遅れた個体の成長を待つことであり、個体

差の斉一化を図ることで、集団社会としての生殖能力を最大化する戦略です。つまり、発育期の競争によって拡大した個体差を発育停止によって共生させているのです。競争によって生じた格差を休眠によって是正しているのです。進んだものが立ち止まって、遅れたものを待つこと、このことを社会の持続的な発展の根拠にしているのです。最後に、携帯電話の普及により、私たちの生活から「待つ」ことがなくなりました。待つことは、未来を占い、語り、未来を引き寄せることです。だから、未来に生きることが出来なくなりました。頭の体操になれば幸いです。



会長挨拶 志水ひろみ君







新会員紹介 大橋 省吾君



新会員心得 屋嘉比 良夫君



新会員挨拶 下田 育雄君



卓話 中部大学 学長 山下 興亜さん



新会員挨拶 岡本 博貴君

